

古き良き昭和の漁師町を歩く

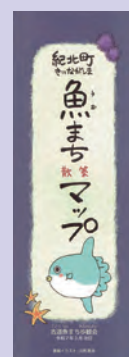
紀北町長島

魚まち散策

紀州地域の玄関口に位置し、県内有数の漁獲高を誇る長島港。その周辺の長島は、昔から漁業や海産商、風待ち港として栄え、伝統的な漁師町の風情を色濃く残しています。また海や川にまつわる伝説や民話が大切に守り継がれ、暮らしに息づいています。

「魚まち散策マップ」を手に魚市場や船が通るたびに昇降する橋の姿、天日干しされた干物など漁村の風景を見ながら散策しましょう。

取材・文：中川 絵美子



「魚まち散策マップ」

レンタサイクルで江ノ浦橋へ

江ノ浦湾にある小さな漁港・長島港。その周辺が「魚まち」と呼ばれている地区です。魚まちな行くには、JR「紀伊長島」



レンタサイクル

駅すぐの「ふれあい広場マンドロ」(月曜休館)のレンタサイクルを利用するの

がおすすめです。
まずは散策の起点、江ノ浦大橋へ向かいましょう。遠くからでもよく目立つ赤い橋梁は長島のランドマーク。上空から見るとぐるんと一重ループした形状から、地元では通称「橋」と呼ばれています。高架橋のため大型船の湾への出入りを遮ることもありません。橋のたもとに自転車をとめ、階段をのぼってみましょう。魚まちと江ノ浦湾が一望できる絶景ポイントです。

めぐるのがおすすめです。地元の市民団体「古道魚まち歩観会」が町内62か所にマンボウの絵の手づくり案内板を設置し、マップを制作しています。「迷ってもマンボウを探せば大丈夫ですよ」と植田さん。階段を下りたら、湾の堤防に沿って干物通りを進みましょう。かつてこの通りには漁協や魚市場があり、今も魚屋が軒を連ねます。天日干しの干物が店先に並び、漁具が置かれた漁村ならではの風情が漂います。「潮風にあたたった干物の味は格別。季節限定の魚



「ふれあい広場マンドロ」



江ノ浦大橋からの眺め



手作りの陶板



旬の魚の干物



■ 行程図		所要時間／約2時間		※所要時間は、おおよその目安です。	
START					
「ふれあい広場マンドロ」	約1.7km	江ノ浦大橋	約400m	江ノ浦昇降橋	約300m
					西町大師堂
約2.2km		「魚まちのたまり場」	すぐ	「くまのみち」の道標	約160m
					長島神社
					約150m



長島神社



「くまのみち」の道標



「魚まちのたまり場」



民話「かんからこぼしと治郎左衛門」

蘇民将来は民話の中で須佐之男命を助けた人物で大漁祈願や海上安全の守り神への深い信仰が感じられます。境内には樹齢850年・高さ28メートルの大楠がそびえ、境内の暖地性植物群は県指定天然記念物です。高さ8メートルに及ぶ石垣は江戸・天保年間に住民が総出で近くの大島から石を運び積んだもので、その上からは長島浦の町々が見渡せます。毎年1月中旬には大漁祈願の「船だんじり」が行われ、長島港から神社まで鰐船を模した山車を引く勇壮なお祭

りが楽しめます。
**熊野街道を通り
メインストリートへ**
長島神社の鳥居を抜けると、伊勢から熊野へ向かう熊野街道に出ます。往還町と呼ばれるこの一帯にはかつて旅人が利用した旅館街があり、食事つきの旅籠と自炊の木賃宿が混在していたそうです。「くまのみち」の道標で上本町通りと交差します。魚まちのメインストリートで、昭和30年代頃まで歌舞伎座

や映画館、遊郭などがあり賑わっていました。
左に曲がると「魚まちのたまり場」があります。ここは「古道魚まち歩観会」の活動拠点。かつての銭湯・食堂を整備した無料の休憩所です。昔の生活用品やおもちゃが展示され、今も地元につながる風習の由来となる民話の手づくり影絵も楽しめます。ひと休みしたら、江ノ浦大橋をめざしてのんびりと戻りましょう。
問「紀北町観光協会」
TEL 0597-46-3555

は地元でも人気です」と植田さん。できたての干物を作り手の顔を見ながら買えるのは贅沢ですね。
しばらく歩くと江ノ浦昇降橋へ。船が通るときに橋の中央部が昇降する全国でも珍しい橋で、橋上からは港の風景が一望できます。昇降橋を左に見ながら、霊術師・濱口熊嶽師銅像のある場所、細い路地に入りましょう。

漁師町の路地から長島神社へ

ここは「土井ノ内」と呼ばれる路地。



江ノ浦昇降橋※



霊術師・濱口 熊嶽像



「合い」と呼ばれる細い路地



西町大師堂

南北朝時代から戦国時代に存在した「長島城」の城主に仕えた土井氏の家臣が住んでいたといわれます。隣り合う家が壁を共有する密集した造りから、かつての漁村の助け合いの暮らしが想像できます。「猫が屋根から屋根へ飛び移れるほど狭いからねこまたぎ」とも呼ばれているんですよ」と植田さん。こうした細い路地は「合い」と呼ばれ、魚まちのあちこちに残っています。
挽木町を抜け山の方へ進むと西町大師堂があります。平安末期から鎌倉時代

代にかけて制作された西町聖観音像(県指定有形文化財)が祀られており、お堂に入って拝むことができます。裏山を少し登ると「土の壺」と呼ばれる古くからの共同水汲み場もあり、山水をろ過した水を利用できます。魚まちにはこのような共同水汲み場が全部で3か所あります。
大師堂から細道を進むと長島神社に出ます。祭神は須佐之男命。魚まちの漁師の家には「一年中しめ縄を下げ」「蘇民将来子孫家門」の木札がかかっています。